

2015年10月1日

SB エナジー株式会社

栃木県那須塩原市でのメガソーラー発電所の建設について

ソフトバンクグループで自然エネルギー事業などを行う SB エナジー株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：孫 正義、以下「SB エナジー（エスビー エナジー）」）は、栃木県那須塩原市において大規模太陽光発電所（メガソーラー）「ソフトバンク那須塩原ソーラーパーク」の建設を決定しました。

今回、SB エナジーはハウライ株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役：谷澤 文彦）が所有する約 27 万㎡（約 27.0 ha）の土地において、出力規模が約 1 万 3,900kW（約 13.9MW）、年間予想発電量が一般家庭約 3,895 世帯分の年間電力消費量に相当する約 1,402 万 5,000kWh／年の発電を行うメガソーラー発電所を建設し、2016 年 12 月上旬の運転開始を目指します。

SB エナジーは、今後も自然エネルギーの普及・拡大を目指し、メガソーラーをはじめとする自然エネルギー発電所の建設と運営を推進します。

■ 「ソフトバンク那須塩原ソーラーパーク」の概要

所在地	栃木県那須塩原市千本松
敷地面積	約 27 万㎡（約 27.0ha）
出力規模（太陽電池容量）	約 1 万 3,900kW（約 13.9MW）
年間予想発電量（初年度）	約 1,402 万 5,000kWh／年（約 1 万 4,025MWh／年） 一般家庭約 3,895 世帯分の年間電力消費量に相当 ※1 世帯当たり 3,600kWh／年で算出
運転開始	2016 年 12 月上旬（予定）

■ 「ソフトバンク那須塩原ソーラーパーク」完成イメージ図

